

# インフォメーションディスプレイ Vol.29



株式会社ランシステム 総務部  
日本プロポケットビリヤード連盟所属  
トーナメントプロ

岡田 将輝 様

## 自遊空間BIGBOX 高田馬場店 様

株式会社ランシステムが運営する「スペースクリエイティブ自遊空間」はインターネット、コミックはもちろん、ビリヤード、ダーツ、カラオケなどをそろえた複合カフェ。07年10月オープンのBIGBOX高田馬場店には、新コンセプトのビリヤード台「プールライブ」が3台導入されています。



所在地：東京都新宿区

## 世界初、コンピュータ連動のビリヤード 「プールライブ」は新感覚のアミューズメントです。

PN-371  
3台導入

ポケットビリヤードは世界中で親しまれていますが、そんなビリヤードの新しい可能性を見せてくれる「プールライブ(POOL LIVE)」は、知性のスポーツと最新のデジタル技術を融合させた、画期的なアミューズメントシステムです。

ビリヤード台をサポートするのは、インフォメーションディスプレイ『PN-371』。ポケットとボールにセンサーを埋め込み、ポケットされたボールを瞬時に認識、スコア計算や映像と音の演出が連動するという仕組みです。

「ボーラードやローテーションはスコアが自動計算されるのでスムーズにゲームができます。何と言っても、プレーの経過が一目瞭然。シーンに合わせて、迫力のある映像と音で盛り上げます。」従来のプールホールとは違うカジュアルな雰囲気。その気軽さを決定づけたのが、タッチパネルの採用です。

「プレイヤーの名前の登録、ゲームの選択から、ルール説明などのチュートリアルまで、指一本で直感的に操作。初めてでも迷うことなく使えます。」



複合カフェの一画、ビリヤードエリアで光を放つPN-371。プレーのスピーディな展開に合わせ、カラフルな映像がダイナミックに動く。

### 導入時の評価ポイント

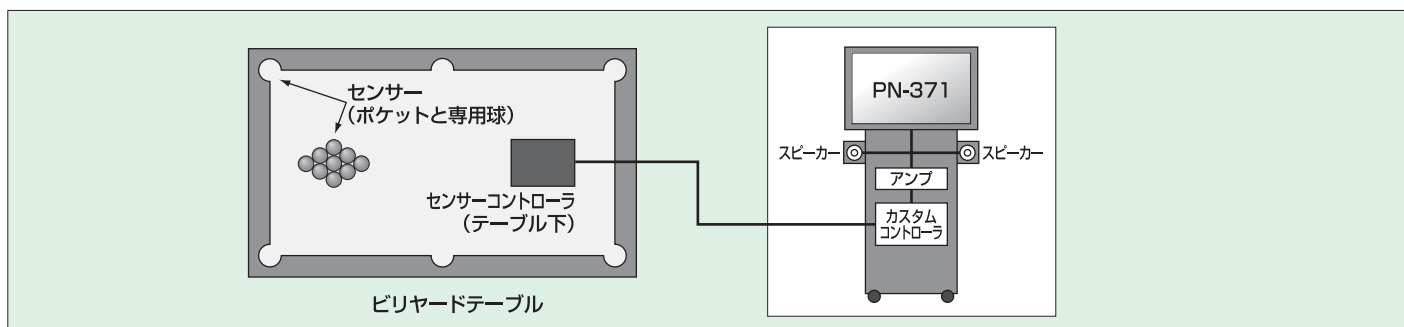
■ 高輝度・高コントラストで  
遠くからでも見やすい、きめ細かい映像表現

■ 多機能のコンテンツとの親和性がよい  
明るく色鮮やかな画面

■ 操作はすべてタッチパネルで  
インタラクティブシステム対応

■ 長時間の連続使用にも耐えられる  
業務用ならではの耐久性

## ■ システム概略図



## 導入の経緯

ビリヤードの魅力を知ってもらう  
新しい方法を

開発に携わった岡田プロにとって、プールライブの構想の出発点は、もっと多くの方にポケットビリヤードの魅力を知ってもらいたいという思いだったようです。

「ビリヤードはスピード感、技術やメンタル面での繊細さなど、奥深い魅力を持っています。でもとっつきにくいイメージもある。魅力を知ってもらうには、構えずに入れる入口があるべきだと考えました。」

難関だったのは、ポケットに入ったボールを正確に認識するセンサー機能。専用ソフト、音と映像の制作にも多くの時間を費やし

ました。

「その点、モニターはすんなり決まりました。プールライブで表示するコンテンツは静止画面も多いので、輝度や耐久性を考慮して液晶ディスプレイしかない判断。ビリヤード台が大きいので、見劣りしないサイズを選びました。37型は近くからでも見やすく、タッチパネルの操作もしやすいですね。」

シンプルな筐体に、「PN-371」と「カスタムコントローラ」、アンプ、スピーカーがセットされ、見た目もすっきりとまとまった。



## 導入後の感想

娯楽性アップで  
複合カフェのサービスも向上

「プールライブはまだデビューしたばかり。いまはお客様の動向を分析している最中です。高田馬場店では6台のうち3台がプールライブですが、稼働率は着実に向上しています。カップルやグループのお客様は迷わずプールライブを選ばれますね。」

現在、「自遊空間」では各地の店舗でモニタリングが進行中。複合カフェという場所

柄か、他の目的で来店されたお客様が、ちょっとやってみようという気軽にご利用されているようです。メディアにも取り上げられ、お問い合わせも続々。プールライブはこれからも積極的にニーズを取り入れていかれるとのことでした。



触れて使えるビジュアルコミュニケーション。お客様はタッチパネルをなんなく使いこなしている。

## 今後の展開予定

初心者から上級者まで、  
誰もが楽しめるアミューズメントへ

現在、プールライブでプレーできるゲームは5種類ですが、今後はコンテンツをさらに充実させることを考えておられます。

「初心者向けにもっとシンプルなゲームを追加するのもひとつ。逆に、腕に覚えのある方のために、プレーのデータを蓄積し、アベレージ

やレベルの確認、プリントアウトなどのご要望に応えていきたいと思います。」

通信ゲームも視野のうち。実現すれば、ダーツのような飛躍的な普及も夢ではありません。「自遊空間のような複合施設だけでなく、ゲームセンターやプールバーなど、さまざま

な業態のお店に導入してもらって裾野を広げ、ビリヤードの世界を活性化したいですね。」

ハイテク装備のアミューズメントは、多くの人をビリヤードという文化に引き込んでいくことでしょう。

## ● お問い合わせは

## シャープ株式会社

情報通信事業本部 ビジネスソリューション事業部  
電話：(03)3260-8217 / (0743)55-6373

2008年2月発行